

## ■ ■ 導入事例 ■ ■

### 三菱重工業株式会社 長崎造船所 様

#### ★全社6,000ライセンスの導入

##### 【導入背景】

ISO14001は平成10年に取得し、それ以来いろいろな取り組みをしてきました。その中の一つとして平成19年度は「紙の出力を半分にする」という目標を掲げました。

そういった意味では印刷コストの削減には主眼を置いていませんでしたが、紙の出力が少なくなることで印刷コストの削減にもつながっています。

##### 【運用】

会議での配布資料が非常に多かったので、会議室にプロジェクタを導入したり、回線を引いて個人のPCを移動して使えるようにし、あまり印刷せずに会議ができるようにしました。また、会議後にも内容を確認できるように会議資料はデータ共有できるようにしています。

FinePrintを利用する前はプリンタの機能で2分割にしたり、両面印刷にするよう啓蒙をしていましたがうまくいきませんでした。どうしてもユーザに毎回、印刷する直前に出力状況を確認させることができなかつたのです。

FinePrintを導入した今では、「FinePrintを徹底的に使う」ということが紙の削減を行うための目標になっています。そのため毎月1回、部長会議でFinePrintの活用状況を報告してもらっています。

##### 【効果】

FinePrintの活用状況を毎月の部長会議の報告をもとに数値化し、フォローしています。現在、全体で見ると時期や部署ごとにばらつきはありますが、最低でも20%以上の紙の削減ができています。1ヶ月間で約100万枚出力していたところ、20万枚の紙資源の削減ができているということになります。また、紙の削減だけをもともと期待して導入したのですが、次の2つの機能は重宝しています。1つ目はPDF作成機能です。FinePrintで編集した画像をそのままPDFにできるのはよいですね。簡単にPDF化することができます。通常版の「FinePrint 5」ではなく、「FinePrint 5 professional」（※PDF作成機能付ライセンス）にしておいてよかったです。2つ目はヘッダー、フッターの機能です。印刷物には必ずフッターにユーザ名を表示するようにしました。これにより印刷物の放置をなくすようにしています。



## ■ ■ 導入事例 ■ ■

### 関西電力株式会社 若狭支社 様

#### ★1,500ライセンスの導入

##### 【導入背景】

平成10年度より「IT」と「TQM(Total Quality Management)」の1体化を狙いとした「業務改革推進ワーキング」を旗揚げし、活動の目標として20%の机上業務効率化、50%のペーパーレスを設定しました。どうしても印刷しなければならないものについては、「まとめ印刷」などの機能が効果的であると判断し、FinePrintでの縮小印刷を励行しています。

##### 【導入手順】

まず試験的にFinePrintを250ライセンス導入しました。導入部署の「使いやすい・効果的」との評価で、さらに1250ライセンス、合計1500ライセンスを導入しました。

##### 【効果】

紙そのもののコストより、それにまつわる人件費等の間接コストや業務プロセスを削減できているのではないかとおもいます。メール本文と添付ファイルのまとめ印刷機能やNotesのようにプレビュー機能のないアプリのプレビュー機能等として利用しています。経費節減意識の向上にも貢献できるので、何%削減したかを表示する機能もたいへん良いです。

